



Tokushima University Hospital

News Letter

徳島大学病院ニュースレター2021 SUMMER 発行: 徳島大学病院

No.33



病院長 香美 祥二

令和3年度の徳島大学病院の卒後臨床研修が、多数の新人研修医を迎える開始されました。本院は、メディカルゾーン重点研修プログラムをはじめとして、研修医の皆さんの希望に沿った多様な研修を可能とする柔軟性に富んだ魅力的なプログラムを提供しています。プライマリケアから高度先進医療にわたる幅広い研修内容を吟味し、自分が望むプログラムを組み立て実りある研修に取り組んでください。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)大流行の影響で医療環境は大きく変化し、新時代の研修形態に移行しています。このような時だからこそ感染症全般に関する知識や感染防護対策を学び、新規・再発感染症に対応する力を自身の強みとしてください。本院でも研修の一部に少人数実習やスキルス・ラボでのシミュレーター実技研修を積極的に取り入れ、オンラインセミナー・講習会の充実を図り臨床知識を深めてもらえるよう工夫しています。流行収束の先行きが不透明な中、専門科専攻を含め将来に不安を抱えている方もおられるかと思います。そのような中、研修等で悩みがある時は直ちに相談してください。皆さんのが本院の研修を通じて医師として成長し輝く未来を歩めるよう、卒後臨床研修センターを中心に職員全員でサポートいたします。

令和3年度の初期研修が始まりました。

令和3年4月1日より、令和3年度の初期臨床研修が開始となりました。メディカルゾーン重点研修プログラム選択者3名を含め、1年次研修医12名が加わり、2年次研修医18名と合わせて初期研修医は全體で30名となりました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が依然として猛威を振るう中、昨年に引き続き、徳島大学病院主催の新人情報交換会、徳島県医師会主催の新人研修医歓迎の集いは中止となりました。また、徳島県外から当院へ移動してきた初期研修医に対しては、体調確認のための期間として、徳島県内に入つて以降14日間の自宅待機のうえ、当院での研修を開始しています。

そして4月から当院で研修を開始する初期研修医に対しては、4月1日～4月9日まで病院オリエンテーションを行いました。昨年と同じく、部署別で少數・短時間・換気に留意したオリエンテーションを円滑に進めるべく病院全体で協力し、研修医がマスターすべき基本的な知識・技能・態度の習得だけでなく、看護部・薬剤部・医療技術部・患者支援センター・事務部などの多くの職種のご協力のもと病院全体の業務についても研修し、スムーズに病院に溶け込むよう努めました。

オリエンテーションを終えた1年次の研修医は4月12日から、各診療科にて研修を開始いたしました。また研修医に対する新型コロナワクチン接種についても、当院ならびに県内外の協力病院と連携して2回接種を行いました。県外都市部のみならず徳島県内に於いても新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が懸念されていますが、今後も県外の協力病院との連携を可能な限り維持できればと考えております。また、県下の研修病院にはこれまで通り協力病院として引き続き研修医の指導にあたって頂きます。個々の病院だけでなく、医師会・徳島県の協力のもと、徳島県全体で全ての研修医をサポートしていきます。今後も感染予防に留意しつつ研修を続けて参りますので、まだ至らぬ点も多いと思いますが、温かい目で研修医をご指導いただけますようお願いいたします。



令和4年度 徳島大学病院 医師臨床研修プログラム

令和4年度の卒後研修プログラムは、「AWAすだちプログラム」・「メディカルゾーン重点研修プログラム」・「産婦人科研修プログラム」・「小児研修プログラム」の4つの中から選択可能です。

各プログラムの詳細は徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン1 AWAすだちプログラム (定員20名)

徳島大学病院と全国の協力病院にて研修を行うプログラムです。研修病院や研修科は、希望に沿って柔軟に対応可能です。全国の協力病院に関しては下の地図に示していますが、病院の詳細に関しては、徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページをご覧ください。

パターン2 メディカルゾーン重点研修プログラム (定員3名)

徳島大学病院・徳島県立中央病院にて構成されるメディカルゾーンを中心としたプログラムです。大学病院と市中病院の特色を生かし、高度医療から地域医療まで幅広い研修が可能です。

パターン3 産婦人科研修プログラム (定員2名)

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医療に関し、幅広く専門的な研修が行えるプログラムです。

パターン4 小児研修プログラム (定員2名)

将来、小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的に研修が行えるプログラムです。

徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

4月24日(土) マイナビRESIDENT WEB合同セミナー「中国・四国エリア特集」

4月25日(日) レジナビFairオンライン 徳島県2021 ~臨床研修プログラム~

6月30日(水) 令和4年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会



*総合メディカルゾーン構想とは?

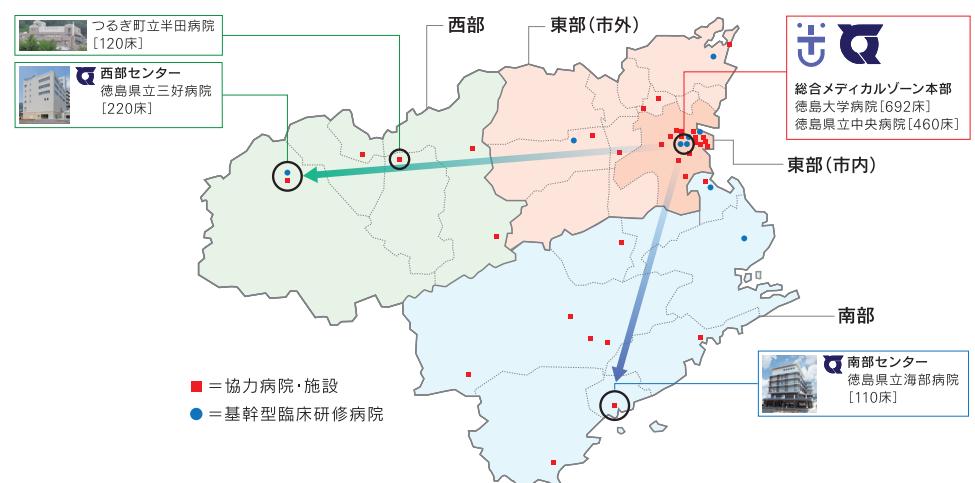
高度医療を提供する特定機能病院である徳島大学病院と高度急性期医療の中核病院である徳島県立中央病院をメディカルゾーン本部とし、西部センター(徳島県立三好病院)、南部センター(徳島県立海部病院)とともに運用を行い、最先端の医療から地域医療まで幅広く提供できる巨大なメディカルセンターを形成する構想です。当院では、平成30年度からメディカルゾーン重点研修プログラムを開始し、全人的な医療を提供できる人材の育成を目指しています。

徳島県立中央病院 地域医療支援病院



メディカルブリッジ

*徳島県内の協力病院・施設(地域医療)



研修医紹介

1

1年目研修医

		鴨川 敏 かもがわ さとし		高岡 傑 たかおか しゅん		高原 由実子 たかはら ゆみこ		花房 翠 はなぶさ みどり	
		初期研修を徳島大学病院で過ごせば、 少々たる私でも蒼蠅驅尾、必ずや大医に成ると信じ、精勤恪勤します。		患者さんに寄り添った医療が実践できる ように日々努力したいと思っています。 よろしくお願い致します。		当院での研修の一日一日を大切に、誠 実に努力しようと思います。ご指導よ ろしくお願いします。		指導して下さる先生方から多くを学 び、それを患者様に生かせるような研 修医になれるよう努力致します。	

溝渕 令 みぞふち れい		吉川 紘平 よしかわ こうへい		青山 理央 あおやま りお		佐藤 江実 さとう えみ		吉本 奈央 よしもと なお	
分からぬことばかりですが、精一杯 研修に取り組んでまいりますのでご指 導宜しくお願ひ致します。		母校で研修できることの心強さを日々 感じています。未熟な自分ですが、一歩 一歩成長できるよう努力します。		周囲への感謝を忘れずに、一日一日を 大切に精進して参ります。よろしくお願 ひいたします。		至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけして しまうと思いますが、日々努力してまい ります。宜しくお願ひいたします。		至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけする ことが多いと思いますが、前向きに頑 張りますのでよろしくお願ひします。	常に向上心を持って精一杯頑張ります。 よろしくお願ひします。

2

2年目研修医

天野 雅文 天野 まさみ		笠井 嘉人 かさい ひろと		金山 凉加 かなやま すずか		高橋 要 たかはし あきら		高橋 黒加子 たかはし くろかこ	
自分に負けず精進して参ります。ご指 導よろしくお願ひします。		4月から徳島大学病院に戻ってきました。 残り1年の研修も精進してまいります。 よろしくお願ひいたします。		残りの研修を有意義にできるよう精一 杯頑張りたいと思います。よろしくお願 ひいたします。		自分の知識不足に悩まされる日々で す。今年こそは学ぶ姿勢を身につけ、視 野を広げたいと思います。		1年ぶりに徳島に戻ってきました。昨年 学んだことを生かし研修に励みたいと 思います。よろしくお願ひ致します。	
野田 尚吾 のだ しょうご		板東 夏生 ばんどう なつき		山田 拓也 やまだ たくや		吉田 真理子 よしだ まりこ		吉本 文乃 よしもと あやの	
この4月より研修も2年目となりました。 1年目で学んだことをもとにステップアップしていきたいです。		12月まで和歌山日赤で研修していました。 精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願 ひします。		一年間で学んだ経験を生かして一歩ず つ精進していきたいと思いますので、 ご指導の程宜しくお願ひ致します。		研修2年目の吉田真理子と申します。 まだまだ未熟な面もあるかと思います がご指導の程、宜しくお願ひします。		昨年学ばせていただいたことを活かし て今年も成長できるように頑張ります。 どうぞ宜しくお願ひいたします。	思いやりを忘れず、丁寧な診療に努め ます。昨年に引き続き、ご指導の程よろ しくお願ひ致します。

第262回 徳島医学会学術集会

令和3年3月7日(日)に第262回徳島医学会学術集会が開催されました。前回に引き続き、ポスターセッションはweb公開での発表形式となりました。徳島大学病院からは2年次研修医2名、1年次研修医3名の計5名が発表を行い、1年次研修医 木村 蘭子先生が第25回若手奨励賞を受賞しました。熱心に御指導頂きました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。

木村 蘭子先生(1年目):内分泌・代謝内科

山田 拓也先生(1年目):循環器内科

吉本(旧姓:石元)文乃先生(1年目):消化器内科

青井 優先生(2年目):呼吸器・膠原病内科

石田 卓也先生(2年目):血液内科



若手奨励賞

1年次研修医

木村 蘭子先生

(内分泌・代謝内科)

「繰り返す脆弱性骨折を
契機に発見された
クッシング症候群の一例」

先輩からのメッセージ

専攻医となった今、初期研修を振り返って

徳島大学病院 呼吸器・膠原病内科

市原 聖也

令和元年～2年度 徳島大学病院 AWAすだちプログラム

徳島大学病院・愛媛県立中央病院・高知赤十字病院・美波病院にて研修

はじめまして。徳島大学病院呼吸器・膠原病内科の市原と申します。徳島大学病院AWAすだちプログラムでの初期研修を終え、今春より専攻医として勤務させて頂いております。現在はコロナチームとして、COVID-19の重症患者の対応にも関わっています。エビデンスのある治療がまだまだ少なく、臨床試験での結果が日々の治療に次々と反映されていく過程を最前线で体感しております。

さて、私の初期研修を振り返りますと、2つの理由から徳島大学病院での初期研修を選択しました。1つ目はAWAすだちプログラムを利用することで初期研修期間の半分は、提携病院で研修することが可能であることです。私は愛媛県立中央病院で9か月間、高知赤十字病院で3か月間、美波病院で1か月、残りの期間は徳島大学病院というようなカリキュラムを立てました。それぞれの病院で強みや特色がありますので、内科系は四国最大の市中病院である愛媛県立中央病院で、救命救急はwail inから3次救急まで経験できる高知赤十字病院で、といったような選択ができることが最大の魅力だと思います。施設毎に患者層、システム、そして雰囲気も異なっており、様々な考え方、視点に触ることができます。

2つ目は、徳島大学病院での研修は柔軟なカリキュラムを組むことができる点です。市中病院ではなかなか希望通りの日程を組むことが難しいこともあります。当院では基本的に希望に沿った選択が可能です。また、年度初めにカリキュラムをすべて決めてしまった必要はなく、適時、少し

ずつ決定していくことが可能です。実際に研修する中で、興味のある分野が出てくることも多々あるかと思います。私の場合は、初期研修を進めるなかで次第に呼吸器・膠原病内科に興味を持つようになり、呼吸器外科や病理部など関連のある分野をカリキュラムに組み入れることに決めました。もちろん、各分野ともに、研修医の指導体制も充実しているのは、大学病院ならではと考えます。

当院での研修は比較的自由であり、ひたすら研修に邁進するのも良し、片手間に趣味に興じるのも良し、結局は自分次第だと思います。また、悩んだ時は卒後臨床研修センターのスタッフの方々はいつでも親身に相談に乗って下さるので心配は必要ありません。私自身、悩みながらも、目標を持って研修を行うことで、専攻医となった後も身に残り続けるような初期研修生活を送ることができたと思います。



呼吸器・膠原病内科で後期研修中の一コマ(右が筆者)

令和3年度 卒後臨床研修センター

卒後臨床研修センターは、安倍 正博センター長(血液内科)、西 京子副センター長(脳神経外科)、河北 直也特任助教(呼吸器外科)、田中 久美子特任助教(消化器内科)、門田 宗之特任助教(循環器内科)の5名体制です。研修医の先生方が安全で充実した研修生活を送り、医師として巣立つていけるようサポートして参ります。徳島大学病院の卒後臨床研修に今後もご協力ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。



卒後臨床研修センタースタッフ

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大に伴い病院見学やプログラム説明会が小規模での開催となっている経緯から、医学生に向けた卒後臨床研修センター・研修プログラムの紹介動画および研修プログラムのデジタルパンフレットを公開しています。その他、新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しておりますので、ご興味のある方はホームページにアクセスいただけますと幸いです。



徳島大学病院

Tokushima University Hospital

徳島大学病院卒後臨床研修センター

Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358

E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp

■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽に
お寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp